

3. 管理・活用段階

方針10 地域と施設のかかわりに配慮し、積極的な活用を進める

取組1 地域活動の場として公共空間を活用する

- ・多くの人々が施設や地域の景観に愛着、誇りを感じてもらえるよう、地域の活性化やコミュニティの形成につながる地域活動の拠点として、公共空間の柔軟な活用に取り組めます。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①公共空間を中心に、オープンカフェやマルシェ等のイベントを実施するなど、様々な交流やアクティビティの充実を図る。	—
建築物	公園	道路	②地域の課題やニーズに対応した公共空間の利用のルールづくりなど、公共空間を柔軟に活用するための仕組みづくりを検討する。	—

取組2 地域と連携したマネジメントの仕組みづくりに取り組む

- ・将来にわたって持続可能な体制づくりに向けて、公共空間の活用や維持管理を一体的に進め、地域の多様な主体との連携した公共施設や公共空間のマネジメントの仕組みづくりに取り組めます。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①住民参加による花壇の整備や落葉、ゴミ拾いなど、施設の維持管理の仕組みづくりを検討する。	—
建築物	公園	道路	②公共空間の維持管理・運営を行うマネジメント組織の立ち上げを支援する。	—
建築物	公園	道路	③屋外広告物の広告料収入をまちづくり活動に還元する取組みなど、持続的な維持管理の仕組みづくりを検討する。	—

参考事例



▲（取組 1-①、2-③ 豊島区・池袋グリーン大通り）
道路空間を活用し、エリアマネジメント組織により、屋外広告物の掲出・管理や、その広告料収入を清掃活動や防犯活動などのまちづくり活動に還元する取組み、オープンカフェやイベントの実施などが行われている。



▲（取組 2-①、2-② 豊島区・大門ケヤキ並木）
地元住民の有志により「鬼子母神大門櫛並木保存会」を立上げ、ケヤキ並木の保存に関するさまざまな活動に尽力し、ケヤキ並木を後世に伝える活動を行っている。



▲（取組 1-②、2-② 豊島区・南池袋公園）
商店会・町会・区の代表者、隣接地権者、カフェレストラン運営者、学識経験者、植栽管理者で構成された公園の運営組織である「南池袋公園をよくする会」が設立され、公園利用のルールや公園の更なる魅力向上に繋がる活動を話し合っている。



▲（取組 2-① 豊島区・池袋駅西口）
池袋駅西口駅前広場の植物維持管理について、地元の団体である NPO 法人と維持管理協定を締結し、役割分担にしたがい協働で維持管理を行っている。

方針 1 1 設計意図を継承し、適切な維持管理を行う

取組 1 景観に配慮した維持管理を行う

- ・計画・設計時に景観に対してどのような意図を持って施設が整備されたのかを理解し、維持管理においても景観への配慮の視点を持った取組みを行います。
- ・公共施設や公共空間がいかに素晴らしいデザインでも、整備後に付け加えられた設備等が、施設等の設計意図を踏まえず加えられると、ちぐはぐな景観が生まれてしまいます。新たに設備等を取り入れる場合にも、今ある景観と調和するよう配慮します。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①施設の景観に配慮した点について、維持管理計画に基づき定期的にメンテナンスを行う。	—
建築物	公園	道路	②樹木等の剪定にあたっては樹形を美しく保つよう配慮する。	—
建築物	公園	道路	③周辺環境への配慮等の観点から、新たな設備（防砂ネットなど）を取り入れる場合、既存の施設や周辺の街並みから目立たないよう色彩や形状を工夫する。	—

取組 2 管理・運営を外部に委ねる際にも設計時の意図を継承する

- ・施設の整備や維持管理、運営における民間活力の活用が進められており、公民連携の施設づくりが進められる中で、民間の施設部分や民間が施設の維持管理、運営を行うケースも増えています。管理・運営を外部に委ねる際にも、公共施設としてふさわしい景観への配慮が求められることから、設計時の意図が継承されるよう、仕組みづくりに取組みます。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①指定管理者等、施設の管理・運営を外部に委ねる際に、施設の景観の維持保全に関する事項を仕様書に記載する。	—

参考事例



▲（取組 1-① 千代田区・行幸通り）

日常管理や点検、緑地管理について、東京都と地元企業の管理部門で協定を結び、街路樹や路上の清掃などを実施している。植栽に係る工事などの実施に際しては地元企業に連絡を入れるなどの調整を行っている。



▲（取組 1-② 横浜市）再掲

剪定頻度を高め樹木へのダメージ減らすと共に、周辺の状況や樹種に応じて、樹形や選定方法を定め、計画的な維持管理が行われ、美しい並木と街並みが形成されている。



▲（取組 2-① 武蔵野市・武蔵野プレイス）

武蔵野プレイスと隣接する公園が一体的に整備されている。計画段階において、両施設の空間の利用やマネジメントの連携が位置づけられており、完成後の指定管理者による管理運営においても意識的に取り組まれている。

方針 1 2 地域に親しまれる景観を残しながら、歴史や地域性を継承する

取組 1 計画時の意図を尊重する

- ・公共施設の修繕・改修にあたっては、計画・設計時に景観に対してどのような意図を持って施設が整備されたのかを理解し、現状の施設の良い部分を継承していきます。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①修繕・改修にあたっては、計画時の意図を尊重し、形態・意匠・色彩等が著しく異なるものの使用は控える。	—
建築物	公園	道路	②改築前の建物の歴史的な成り立ちや意匠等を設計の手掛りとする。	—

取組 2 地域らしい景観を継承する

- ・地域とかかわりの深い公共施設は、地域の想いや愛着が育まれていることが期待されます。地域の人々の想いや愛着を汲み取り、地域の歴史や個性を継承していきます。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①改修にあたっては、住民が愛着を感じている施設の外観のデザインや素材、樹木などを保存する。やむを得ず撤去する場合でも、移植するなど地域の歴史を残すような工夫を行う。	—

取組 3 工事中も景観に配慮する

- ・工事などに用いる仮囲いは一時的なものとはいえ、地域の景観の一部として捉え、周辺の街並みとの調和に配慮します。

対象施設			取組み例	参考
建築物	公園	道路	①工事中の仮囲いもデザインや植栽の工夫により、見る人が楽しめる工夫をする。	—

参考事例



▲ (取組 1-① 品川区・戸越銀座駅)

地域住民の愛着が深い木造の駅舎を継承し、切妻屋根をシンボルに、多摩産の木材をふんだんに使った温かみのある空間を形成している。



▲ (取組 1-② 川崎市・法政大学第二中・高等学校) 学校のシンボルであり、地域全体のランドマークとなっていた既存時計塔を同じ高さほぼ同じ位置に、同様のデザインとして建替えており、これまで地域で親しまれてきた景観を継承している。



▲ (取組 2-① 軽井沢町・ハルニレテラス)

清流沿いに設けられた歩行空間は、自生するハルニレの大木を保存するための穴を穿たれたり、地形に応じて高さを変えるなど、できるだけ自然地形や植生を痛めない工夫等が行われている。



▲ (取組 3-① 港区・表参道)

工事期間中においても、街並みや賑わいを楽しめるよう本物の植物をあしらった工事仮囲いを設置した。